

令和元年度 事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、令和元年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする里山などの森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

【会議等】

1 理事会

(1) 第1回通常理事会

令和元年5月13日（月）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 平成30年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属明細書を含む）について

第2号議案 令和元年度定時評議員会の招集及び提出議題について

報告事項

- ① 役員の職務の執行状況について
- ② 基本財産の運用状況について
- ③ 理事の改選について

(2) 第2回通常理事会

令和2年2月6日（木）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 緑の募金運営協議会委員の再選（全員11名）について

報告事項

- ① 役員の職務執行状況について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び定款第39条第2項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

① 平成31年4月8日（月）

評議員会の招集及び決議事項（理事4名、監事1名選任）に関する件
さが緑の募金運営協議会委員3名の選任に関する件

② 平成31年4月24日（水）

理事長、常務理事の選定の件

③ 令和元年7月16日（火）

さが緑の募金運営協議会委員3名の選任に関する件

④ 令和元年10月15日（火）

さが緑の募金運営協議会委員1名の選任に関する件

2 評議員会

(1) 定時評議員会

令和元年6月4日（火）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項

第1号議案 平成30年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録（これらの関連附属書類を含む）について

報告事項

① 平成30年度事業報告について

② 平成31年度事業計画及び収支予算について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

定時評議員会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条及び定款第23条の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

① 平成31年4月16日（火）

理事4名、監事1名の選任に関する件

3 緑の募金運営協議会

(1) 第1回運営協議会

平成31年4月18日（木）佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

審査案件 平成31年度緑の基金一般公募助成事業の採択について

(2) 第2回運営協議会

令和元年7月17日(水)佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

報告事項

- ① 平成30年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- ② 平成30年度緑の基金助成事業実地検査の結果について

審査案件 令和元年度緑の基金助成事業について

(3) 第3回運営協議会

令和2年1月23日(木)佐賀県農林水産部内会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

議題

- 第1号議案 運営協議会委員長の選任について
- 第2号議案 令和2年度緑の募金事業計画及び収支予算について
- 第3号議案 令和元年度民間団体等緑化支援事業の採択について

【 公益事業1 (一般事業) 】

一般事業では、基本財産の運用収入、(公社)国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金(緑化普及積立資産)等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

- 1 緑の普及啓発事業 [決算額 9,225 千円]
 - (1) 普及啓発 [決算額 7,636 千円]
 - ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
 - ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、(公社)国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページへの掲載を行い意識の高揚に努めた。
また、優秀作品10点を国土緑化運動の審査会に推薦した。
 - ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
 - ④ 県内の小・中学校等からの要請を受け、学校や脊振山などの現地や林業試験場内で森林環境教育を行った。
 - ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。

○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第70回全国植樹祭	令和元年6月2日	愛知県尾張旭市ほか (愛知県森林公園)
全国緑の少年団活動 発表大会	令和元年12月14日	沖縄県那覇市(パレット市民劇場)
第43回全国育樹祭	令和元年12月15日	沖縄県宜野湾市(沖縄コンベンションセンター)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 183 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にすることを育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する学校23校に12種28本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ [決算額 705 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、佐賀県との共催によりどん³の森中央広場を会場に「よかウッドフェスタ」を令和元年11月3日(日)に開催した。

主な開催行事として、

- ・ 国土緑化運動の標語コンクール優秀者の表彰
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートやふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催しなどを行い、約1.2千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

(4) 森川海人っフェス [決算額 701 千円]

県民に森とふれあいを通して、森・川・海が暮らしに様々な恩恵を与え、重要な役割を果たしていることへの理解を深めてもらい、森・川・海に対する県民意識の醸成を図るため、佐賀県との共催により21世紀県民の森を会場に「ふれあいの森フェスタ」を令和元年8月11日(日)に開催した。

- ・ 森づくり活動としてふるさと記念の森内の下草刈りと知事による記念植樹を行った。
- ・ 森・川・海のパネル展示、森川海の素材を使った工作コーナーを催した。
- ・ 森川海の講演会・クイズ大会、ヤマメつかみ取り等の催しを実施し、森川海は一つの認識を深めてもらうとともに、森川海が一体となった整備・保全や維持管理が重要であるとの意識の醸成を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業 [決算額 209 千円]

C S O等から企画提案された、森林環境学習会や木工教室の開催など企画提案された1事業を採択支援した。

- ・ 県産材を利用した木工教室及び森林環境学習会を開催することにより、地域の森林整備等への関心を高めるとともに、自然環境保全の心を育む佐賀市の団体の取組に助成することにより緑化の推進を図った。

3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 725 千円]

(1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 725 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町において緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会を開催した。

○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時 令和元年8月1日(木)

会 場 佐賀市立小中一貫校北山校、佐賀市北山コミュニティーセンター

参加者 緑の少年団、指導者等 206名

行 事 活動発表大会(地区代表5団)最優秀賞1団、優秀賞1団

講 話 ペルーの自然環境(青年海外協力隊 松本 徹 氏)

体験活動 森のクラフト体験、この木何の木クイズ

4 国土緑化推進機構受託事業 [決算額 3 千円]

国土緑化推進機構からの受託事業として、全国の幼稚園等を対象に実施されている「巡回森の教室(どんぐりくんと森の仲間たち)」を佐賀市及び鹿島市の保育園3箇所で開催した。

5 事業推進事務費 [決算額 2,736 千円]

【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。

募金目標額は54,500,000円としたところであるが、家庭募金や職場募金などで目標額を下回ったことから目標額は達成することが出来なかった。

○ 募金実績額：53,061,194円

○ 運動期間 春：平成31年3月1日～ 令和元5月31日

秋：令和元年9月1日～10月31日

1 緑の少年団等育成事業 [決算額 4,180 千円]

(1) 活動・交流支援 [決算額 4,044 千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団に対し、日常の活動費への助成を行った。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

① 佐賀中部・東部地区

期 日：令和2年2月22日

実施場所：佐賀市 さが水ものがたり館及び周辺

参加者：20名

行事内容：石井樋周辺の竹林整備活動や竹を使った自由工作体験を通じて人と森との関わりを学ぶとともに、体験を通し地区内の少年団相互の交流を図った。

② 武雄・鹿島地区

期 日：令和元年12月1日

実施場所：白石長有明公民館他

参加者：19名

行事内容：有明海岸の森づくりの必要性について、森が果たす役割や人間への恩恵について学び、現地でカズラの除去作業体験を行うとともに、クラフト体験を行い、地区内の少年団相互の交流を図った。

③ 唐津・伊万里地区

期 日：令和元年11月17日

実施場所：有田町 竜門峡キャンプ場周辺

参加者：27名

行事内容：森が果たす役割や人間への恩恵についてDVDを見て学ぶとともに森の探検やクラフト体験を行い地区内の少年団相互の交流を図った。

- (2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 136 千円]
県内の緑の少年団育成・交流事業や少年団指導者研修会開催等に要する経費に対し助成することにより、県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 764 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 480 千円]

① 県内で様々な森林づくり活動を実施している「森林づくりボランティア」は、現在 27 団体が登録しており、このうち申請のあった 8 団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：令和元年 12 月 21 日

場 所：佐賀市富士町古場、苜木マウンテンバイクコース

参加者：親林交流指導員、ボランティアリーダー 15 名

内 容：・マウンテンバイク愛好グループとタイアップした森林の活用についての座学と現地の研修

・森林の有効活用による北山しゃくなげ園の視察研修

(2) 親林交流指導員の派遣 [決算額 284 千円]

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、地域の団体等 15 団体の派遣要請に対し、基金に登録している親林交流指導員延べ 17 名を派遣・斡旋し緑化の普及を図った。

このうち、10 団体について、講師謝金等を基金が負担した。

対象団体：小・中学校、放課後児童クラブ、公民館など

対 象 者：幼稚園児・小中学生・保護者、一般県民など 延べ 601 名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 5,998 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 4,657 千円]

① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくり（植栽、下草刈り、枝打ち等）を行った団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下草刈り等）を行い地域の環境整備を行った団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。

① 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体（115 団体）のうち申請のあった 20 団体に対し、苗木等の資材購入費を助成することにより緑化の促進を図った。（1 団体 20 千円以内）

(2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 1,141 千円]

天皇陛下御即位を記念し、鳥栖市河内ダム周辺で、ソメイヨシノ 70 本を植樹した一般社団法人佐賀県造園建設業協会の取組に助成することにより緑化の促進を図った。

(3) 国際緑化 [決算額 200 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会がフィリピン・ネグロスでの植樹活動（アカシアなど 1, 500 本）に対し、助成を行うことにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 28,640 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布などの普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内 16 市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 5,122 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 2,090 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付した。

交付金=定額割額(500 千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×3%)

7 事業推進事務費 [決算額 6,658 千円]